1，新梅田シティdeエコツアー

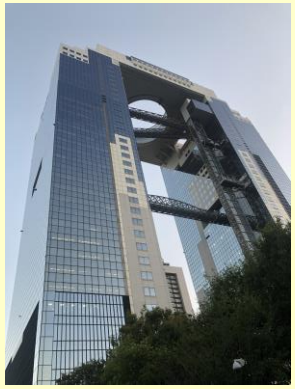
キャリア教育　防災・減災　自然との共生

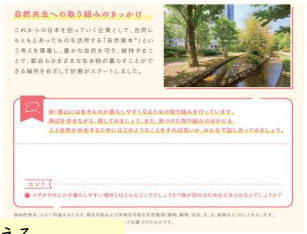
施設名	梅田スカイビル　空中庭園展望台
受入可能時期	通年
受入可能時間	９時３０分～１７時
所要時間（目安）	約３時間
受け入れ人数	最少20名／最大200名まで
プログラム費用	２，０００円（中・高校生）
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで
最寄り駅	JR大阪駅中央北口から徒歩約７分
バス駐車場	有（事前予約要／有料）
公式ＨＰ	https://www.skybldg.co.jp/

梅田スカイビル空中庭園展望台

1993年に完成、地上40階建てビル2棟を上部で連結し、39階の空中レストラン、40階の展望ギャラリーに加え、屋上部分では地上170mの風に吹かれながら、大阪の街並みを一望できる「空中庭園展望台」があります。

建物が連結することによる災害時のメリットは？
どういった観点からこの建物は建築されたのか？
2025年大阪・関西万博のテーマとも連動する「自然との共生」「防災・減災」の視点も取り入れながら
海外観光客に大人気の大阪観光地の裏側とそこで働く人々（企業）の取り組みを学びます。フィールドワークの最後には展望台の屋上から大阪の景色を一望いただけます。





専用ワークブック「しぜんと考える」

日本を代表する大手ハウスメーカーのサステナビリティとは？

大阪のランドマーク的な存在「梅田スカイビル　空中庭園展望台」は、大手ハウスメーカー積水ハウスグループである**‘積水ハウス梅田オペレーション株式会社’**様によって運営管理されています。このビルの地下にある非公開エリア熱源機械室「マシンズー」には、大手メーカー企業の機械が並び、ビル全体の電力供給や、災害時の非常用電源の備蓄、CO2削減などに取り組んでいます。
超高層ビルの両サイドには、約8,000㎡にも広がる田畑「新・里山エリア」や、渓流が流れ、季節になるとホタルも見られる「鎮守の森」が広がっており、人が少し手を加えることにより都会の中心でも自然景観を保ち、人と自然の共生を実現しています。
都会の中心で人と自然の共生を実現しながら、環境にも配慮し、災害時に社員の人々のいのちを守る対策をおこなう新梅田シティの企業の取り組みは、まさに大阪・関西万博のテーマとも連動しています。

プログラム内容

・企業講話（30分）（会場費はプログラム費用に含む）
・専用ワークブックを用いて「中自然」「里山エリア」の見学
・非公開エリア「MACHINE　ZOO（マシンズー）」入場
・空中庭園展望台入館料込

※スカイビル地下レトロ食堂街「滝見小路」にて食事券手配も可能
（500円単位で金券手配可）

プログラムからの学び

企業と企業が連携し、地域一体となりSDGs達成に向けて取り組む姿を学ぶ。

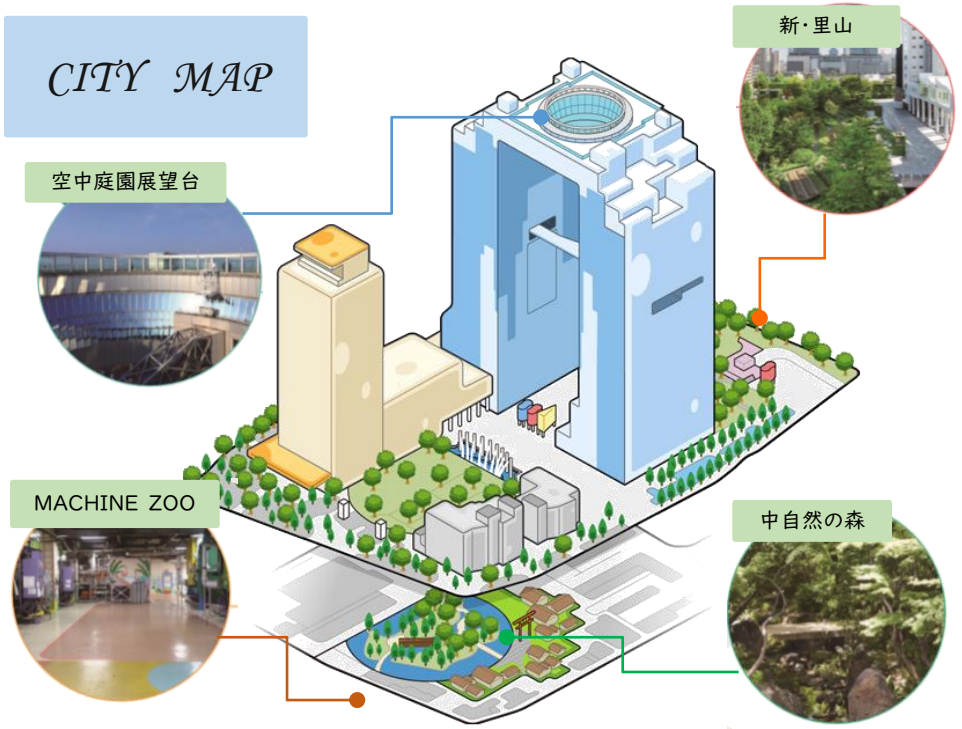
専用ワークブックにそって新梅田スカイビル内の非公開エリア熱源機械室『**MACHINE　ZOO（マシンズー）**』、自然との共生をテーマに積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した『花野～新・里山』、都会に生まれた鎮守の森『中自然の森』を散策していただきます。
非公開エリアから学ぶ、企業の「減災」や「CO2削減」に向けた取り組み、自然と都会の共存を実現する積水ハウスの理念に触れながら、**生徒様が自然と考え、学べるプログラム**です。

新梅田シティdeエコツアー　モデルスケジュール

スケジュール例

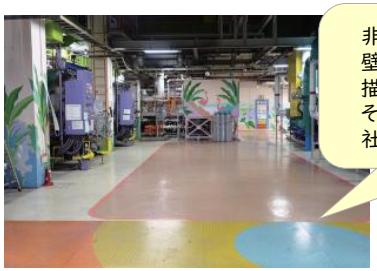
13:20	梅田スカイビル 指定会場にご集合
13:30	積水ハウス梅田オペレーション株式会社様による サスティナビリティ講話（質疑応答あり）
14:00	
14:30	非公開エリア「MACHINE ZOO（マシンズー）」見学
～	「中自然の森」 「新・里山」 班別フィールドワーク
16:00	
～	空中庭園展望台（39階・40階・屋上エリア）自由見学
16:30	

CITY MAP



MACHINE ZOO（地下非公開エリア）

地下の熱源機械室「MACHINE ZOO（マシンズー）」では、様々な企業が連携し、新梅田シティ全体のCO2削減に向けて取り組んでいます。CO2削減以外にも防災の取り組みとして、停電の際に新梅田シティ全体の電力供給を行うことができる機械も設置されています。普段は見られないエリアから企業のCO2削減や防災の取り組みを学んでみてください。



非公開エリアにも関わらず、
壁や柱にはカラフルな動植物が
描かれています。
そこには積水ハウス様の
社員を想う企業理念が・・・

新・里山エリア

大都会の梅田スカイビルの下には、約8,000㎡の田畑が広がっています。里山エリアでは、在来種を増やし、昆虫や鳥が訪れ自然が循環する仕組みを作り出し、自然と都会の共存を実現しています。“3本は鳥のために、2本は蝶のために”地域の在来樹種を中心に植栽計画を行う積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した新・里山エリアで都会と自然との共存を実現する企業の取り組みを感じることができます。

中自然の森

都会に生まれた鎮守の森。
大滝や渓流、渓谷など自然に囲まれたこの場所で見る風景には春夏秋冬で変化する楽しみがあり、6月にはホタルを見ることができます。ここを流れる滝は新梅田シティ全体の「水の循環」をイメージしてデザインされています。

2，水都大阪サステナブルクルーズ

施設名	大阪水上バス株式会社
体験可能時期	通年（冬季特定運休日・春季特別期間を除く） ※体験ご希望日については要お問合せ下さいませ。
体験可能時間	１０時１５分発～１６時１５分発 10:15／11:00／11:45／12:30 13:15／14:00／14:45／15:30 16:15 ※上記は2023年度スケジュールです。時期により運航スケジュールが変更になる場合もございます。
所要時間（目安）	約５０分（乗船時間は40分です）
受け入れ人数	１隻　最少40名／最大98名まで ※２隻までは15分ずらしで受け入れ相談可
プログラム費用	２，２５０円 ※39名様以下の場合も40名様分の料金買取
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで
最寄り駅	JR大阪城公園駅から徒歩約５分
バス駐車場	無し （大阪城公園周辺P利用・有料）
公式ＨＰ	https://suijo-bus.osaka/

プログラム内容

・水上バス「アクアライナー」乗船（大阪城港発着／40分）
・船内にて講師の特別講話
　テーマ「環境・地域活性・大阪の街づくりの歴史など」

プログラムからの学び

水都大阪の水辺の街づくりから学ぶ地域活性
水上バス「アクアライナー」を貸し切って、特別講師を招いて船内特別講話＆水都大阪クルーズ。都市開発まちづくりのコンサルタントとして長年、水都大阪の街の魅力づくりに尽力してきた方や水辺の街づくりに取り組まれている方をお招きして、船内講話。
大阪城港を出発して、2025年大阪・関西万博のテーマの一つである「自然との共生」の視点を取り入れ、水辺の生き物や環境、水辺とともに発展してきた大阪の街づくりの歴史・そこに住む人々の地域活性の姿を学んでいただきます。

水とともに発展してきた大阪

水運に支えられ、経済と文化の中心的都市として発展してきた大阪。大阪は、川が都心部を口の字にめぐる「水の回廊」を中心とした世界でも稀な地形です。
大陸・諸国との交易拠点として栄えていた「水の都」大阪の歴史は飛鳥時代までさかのぼります。今、大阪ではかつての‘‘水の都‘‘として人々が川に寄り添う生きいきとした暮らしの風景を取り戻そうと、船着き場の整備や水辺のシンボル空間の整備、護岸や棟梁などのライトアップなど様々なプロジェクトが進められています。水とともに発展してきた大阪の魅力をクルーズしながら再発見！

水上バス「アクアライナー」

大阪の川を35年以上ほぼ毎日運航するキング オブ 大阪シップ！
船の正式船名は「なにわ」といい、2号、3号、5号の3隻あります。
大阪の川に架かる低い橋もくぐれるように、水面から天井までの高さが160cmしかないスマートな船体になっております。
天井はガラス張りで、とっても開放的。冷暖房やトイレもあって、季節・天候を問わず、快適なクルーズをお届けできます。
※運航当日の天候・潮位等の理由により、全ての機能をご覧いただけない場合があります。

2，サステナブルクルーズ　アクアライナーコースマップ

ようこそ！

水都大阪へ！

大阪は豊臣秀吉によって町づくりが行われ、
江戸時代には、**全国的な商業の街**として栄えました。
明治時代には、**「煙の都」「東洋のマンチェスター」**と
呼ばれる工業都市として発達し、
さらに今日では、**西日本の経済・交通・文化の中心**として、
目覚ましい発展を続ける大都市です。

そのような、近代都市・大阪ではありますが、
高層ビルが立ち並び、高速道路が走る街の一帯には、
**昔の大阪をしのばせる名高い史跡や美しい風景が、
今もなお数多く残されています。**
そんな大阪を船上からごゆっくりとお楽しみください。

❶大阪城

みなさん、ご存じの大阪のシンボル「大阪城」。新鳴野橋から眺める大阪城は、背景にビルが入らず、往時の人々が見た大阪城と同じ風景を眺められる貴重なスポットです。

❷京橋

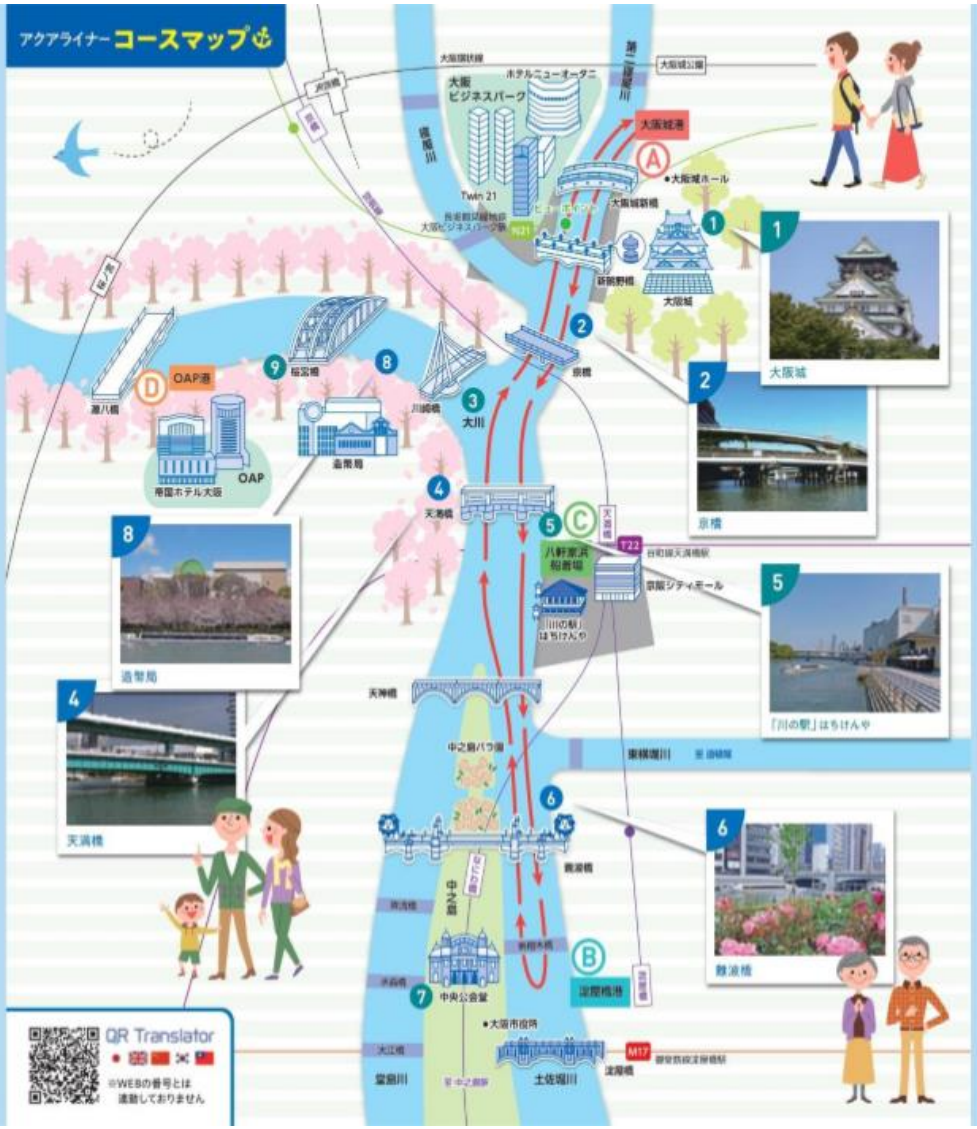
最初にこの橋をかけたのは豊臣秀吉で、橋の名は、京都へ通じる橋という意味で付けられました。

❸大川

京阪電車の鉄橋を越えると、大川に入ります。別名、旧淀川と呼ばれ、淀川の付け替え工事が行われるまでは、ここが本流でした。川沿いには桜の木が植えられており、春はたいへん美しい景色を眺めることができます。

❹天満橋

かつてとても星が綺麗に見えたことから、天満る地・天満橋と呼ばれるようになったそうです。治水緩和のために2階建て構造になっている少し珍しい形の橋です。



❺八軒家浜・川の駅はちけんや

八軒の船宿があったことからその名が付けられました。江戸時代には、京都・伏見と舟運でつながっており、たいへん賑わいのある場所でした。現在ではSUPやノルディック・ウォークの拠点や、カフェなど、水辺の賑わいスポットとなっています。

❻難波橋

1914年に現在の橋が架けられた際に、橋の四隅の親柱にライオンの彫刻が置かれたところから、別名「ライオン橋」とも呼ばれています。船からはライオンのお尻が見えます。

❼大阪市中央公会堂（重要文化財）

1918年に建てられた赤いレンガ造りの中之島のシンボルともいえる建物です。館内にはホールやレストラン、ショップなどがあります。ガガーリンやヘレンケラーもここで講演したことがある、歴史ある建物です。

❽造幣局

桜の通り抜けで有名な造幣局では、1円から500円までの硬貨の大半を作っています。博物館では古代の中国貨幣から現在の貨幣など、さまざまな貨幣を展示しています。

❾桜宮橋

大阪人の間では「鍛橋」の愛称で親しまれる橋です。上流側と下流側に似たデザインの橋が2つ架けられているのも、この橋の特徴で、上流側の新しい桜宮橋は、世界的建築家の安藤忠雄氏による設計のものです。

時代の流れ

江戸	明治	大正
1603～1868	1868～1912	1912～1926
昭和	平成	令和（現在）
1926～1989	1989～2019	2019～

3，空中庭園展望台ナイトプログラム～雨でもできる天文教室～

施設名	梅田スカイビル　空中庭園展望台
受入可能時期	通年
受入可能時間	１８時００分～１９時００分スタート
所要時間（目安）	９０分～１２０分 （講話６０分＋展望台見学）
受け入れ人数	最少40名／最大120名まで ※39名様以下の場合は、要相談
プログラム費用	４，０００円（中・高校生） ※39名様以下の場合も40名様分の買取となります。
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで
最寄り駅	JR大阪駅中央北口から徒歩約７分
バス駐車場	有（事前予約要／有料）
公式ＨＰ	https://www.skybldg.co.jp/

プログラム内容

・特別講師による講話
（天体宇宙教室／会場費はプログラム費用に含む）
・空中庭園展望台入館料込

※スカイビル地下レトロ食堂街「滝見小路」にて食事券手配も可能です。（500円単位で金券手配可）早めのご夕食の後にプログラム実施も可能です。

プログラムからの学び

私たちの住む地球は、宇宙にとってどんな存在か？

前回1970年に大阪で開催された万博（日本万国博覧会）の際は、アポロ計画（※人類が初めて月に行く有人飛行計画で、人類史上初めて月面に着陸した宇宙計画）が行われていた年。2025年の大阪・関西万博が開催される年は、「アルテミス計画」＊1と、宇宙開発と大阪での万博には不思議な縁があります。アルテミス計画では、月での人類の持続可能な計画を目指しています。（JAXAHPより）
地球規模の問題を宇宙という視座で見つめなおすことによる気づきを育む天体宇宙教室を開催し、自分たちの住む場所（地球）について大きな規模で見つめなおし、「持続可能な地球・街づくり」「いのち輝く未来社会」とは？ 大阪・関西万博テーマにも連動する学びにつなげていきます。

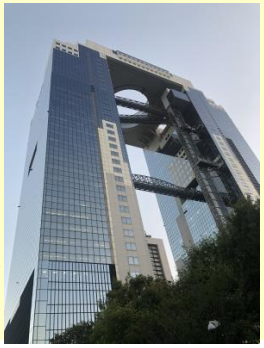
最後には、空中庭園展望台の屋上にあがり、大阪の夜景と宙（SOLA）を楽しむプログラムです。

＊1「アルテミス計画」 再び月面に人類を送り、月周回有人拠点計画を通じて、月に物資を運び、月面拠点を建設する計画。

梅田スカイビル空中庭園展望台

1993年に完成、地上40階建てビル2棟を上部で連結し、
39階の空中レストラン、40階の展望ギャラリーに加え、屋上部分では
地上170mの風に吹かれながら、大阪の街並みを一望できる
「空中庭園展望台」があります。

海外観光客に大人気の大阪観光地を舞台に
梅田スカイビル会議室で夜のプログラムを実施した後は、
展望台の屋上から大阪の景色を一望いただけます。
特別に望遠鏡を設置して、屋上から星空観察をおこなうことも可能です。



4，大阪発！コミュニケーション教育 『世界とつながるグリーティング』
（ナイトプログラム）

受入可能時期	通年
受入可能時間	１８時００分～２１時まで
所要時間（目安）	約１時間　（夕食後のナイトプログラム）
受け入れ人数	最大160名まで
プログラム費用	１団体様　220,000円税込 （中・高校生） ※会場は別途お客様にてお手配。 宿泊ホテルの夕食会場等をご利用ください。
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで
開催場所	大阪府内　宿泊ホテルの会場等 ※大阪府外の会場の場合、別途、講師の交通費が発生します。

WHAT? グリーティングとは?

グリーティングとは、相手を思いやり、心の距離を縮めるコミュニケーションのひとつです。皆さんはテーマパークに行き、明るい笑顔のマスコットキャラクターが自分に向けて手を振ってくれると、言葉を交わしてもいないのに、自然と心が通じたようなあたたかな気持ちになった経験はありませんか？
「言葉がなくとも気持ちが通じる、心が通う」
これはまさに、テーマパークのマスコットキャラクター達がグリーティングメソッドを使って、私たちに全力で手を振ってくれているからなのです。

プログラム背景・学び

感染症の世界的流行を経て、人々の価値観や生き方が多様化する転換期において開催される万博は、人々が改めて様々ないのちと向き合い、持続可能な未来社会のあり方を模索する場となります。プロパフォーマーから楽しみながら、コミュニケーションについて学び、多様な人々とつながっていく喜びを感じるきっかけへとつなげていきます。

万博サブテーマとの連動

Empowering Lives
いのちに力を与える

～いのちに力を与える～
「生活」を豊かにする／可能性を広げる

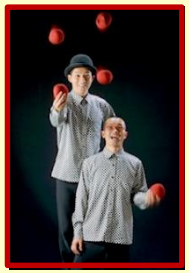
自己実現・表現　芸術・学び

プログラム内容

日本有数のテーマパークでショーをおこなった経験をもつファシリテーターと共に国内様々なイベントで活躍する現役エンターテイナーのステージを鑑賞し、
グリーティングの奥深さを見て、学んで、体験するプログラムです。
ステージを実際に鑑賞し、人を喜ばせ、人との距離を縮める極意を学びます。
フレンドリーであったかい町「大阪」で人との距離を縮める「グリーティングスキル」、「ノンバーバールコミュニケーション」について楽しく体験し、学ぶだけではなく、
2025年大阪・関西万博を見据え、言葉の壁を越えて、世界中の人々とつながる喜びを体感するきっかけにつなげていきます。

サンプルスケジュール＆プロパフォーマー例

時間	内容	パフォーマー
５分	オープニング　　ご挨拶&グリーティングとは？	ファシリテーター１名
１５分	グリーティングの世界　自己表現 ～テーマパークのコミュニケーションから学ぼう！～ 表情・身振り・手振りを交えてファシリテーターが一体感のある会場作りをおこないます。	ファシリテーター１名
２０分	SHOW　TIME！！　芸術・学び プロパフォーマーによるステージを鑑賞しよう。 現役エンターテインナーによるステージショーは圧巻！	プロパフォーマー１組
１５分	ステージの振り返り 「人を喜ばせることとは？」 ～直後に解説！ ステージショーに隠されたホスピタリティの秘密～	ファシリテーター１名 プロパフォーマー１組
５分	記念撮影	全員



シンクロニシティ

京都大学出身の
異色のコンビパフォーマー
ジャグリングフェスティバル優勝経験者

【メディア出演歴】
・NHK「ぐるっと関西おひるまえ」
・ 日本テレビ「行列のできる法律相談所」
・TBSテレビ「クイズ！THE違和感SP」
・MBS毎日放送「ちちんぷいぷい」
・読売テレビ「大阪ほんわかテレビ」
など多数。

平井夢乃 (hirai yumeno)

大阪出身のバトントワラー
バトントワリング世界チャンピオン

【出演歴】
・御堂筋ランウェイ　他
【受賞歴】
・世界バトントワーリング選手権大会 フリースタイルペア シニア金メダル
・バトントワーリング全国大会グランプリ
・内閣総理大臣杯 受賞など多数

5，留学生と学ぶエコウォーク　～新梅田シティde"しぜんと考える"～

施設名	梅田スカイビル　空中庭園展望台
受入可能時期	通年
受入可能時間	９時３０分～１７時
所要時間（目安）	約４時間
受け入れ人数	最少20名／最大120名まで
プログラム費用	4,500円（中・高校生）
予約受付期間	実施日の１年前～２か月前まで
使用言語	おもに日本語

※留学生はガイドではありません。日本人学生と一緒に学ぶフィールドワークです。
上記プログラムの費用には留学生との交流4時間の費用が含まれています。

※協働学習を目的とするため、英語学習ではありません。（原則は日本語コミュニケーション）

※本プログラムは「多様な考え方を受け入れる」を主旨としており、留学生の国籍の事前指定は受け付けておりません。（傾向として、関西への留学生はアジア圏の方が多いです）

スケジュール例

9:30	梅田スカイビル　指定会場にご集合 留学生紹介、各グループに合流
10:00 10:30	積水ハウス梅田オペレーション株式会社様による サスティナビリティ講話（質疑応答あり）30分
11:00	非公開エリア「**MACHINE　ZOO**（マシンズー）」見学
～ 12:00	「中自然の森」 「新・里山」 班別フィールドワーク
12:00 13:50	・空中庭園展望台（39階・40階・屋上エリア）自由見学 ・地下レトロ食堂街や、新梅田シティ内にて留学生との 意見交換＆交流タイム
14:00	梅田スカイビル1階広場に集合・解散

WHY?　大阪でなぜ留学生？

海外から大阪を選んで留学に来た学生からは、
「大阪は住みやすい」「大阪の人はやさしい」と聞いて大阪を留学地に選んだ!!という声が聞かれます。なぜでしょうか？
大阪では、大阪観光局を中心に、海外からの留学生にとって「学んでよし」「住んでよし」「働いてよし」の大阪の実現に向けてオール大阪で取り組んでおり、大阪がアジアNo１の留学生都市になることを目指しています。
2021年10月末時点で日本で働く外国人労働者の数は、約173万人*。
（*厚生労働省発表資料に基づく）この数は、年々増え続けており、次世代を担う皆さんが社会に出る頃には、職場の半数が外国人労働者という環境が当たり前になっているかもしれません。
留学生とともに学ぶプログラムから、様々な考えや価値観に触れ、2025年大阪・関西万博の目指す、多様な人々が活躍する「いのち輝く未来社会の実現」について、皆さんも一緒に考えてみませんか。

プログラム内容

①自然との共生に取り組む企業からの講話（30分）
②専用ワークブックを用いて「中自然」「里山エリア」散策
③非公開エリア「MACHINE　ZOO（マシンズー）」入場
④「空中庭園展望台」入館
※スカイビル地下レトロ食堂街「滝見小路」にて食事券手配も可能です。
（500円単位で金券手配可）

万博テーマとの連動

多文化理解・多文化共生

2025年大阪・関西万博では、一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現を目指し、様々なテーマが設定されています。

当日、専用
ワークブック配布！

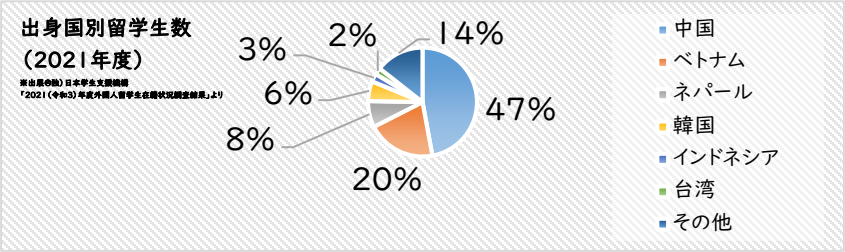
5，留学生と学ぶエコウォーク　～新梅田シティde"しぜんと考える"～

プログラムからの学び

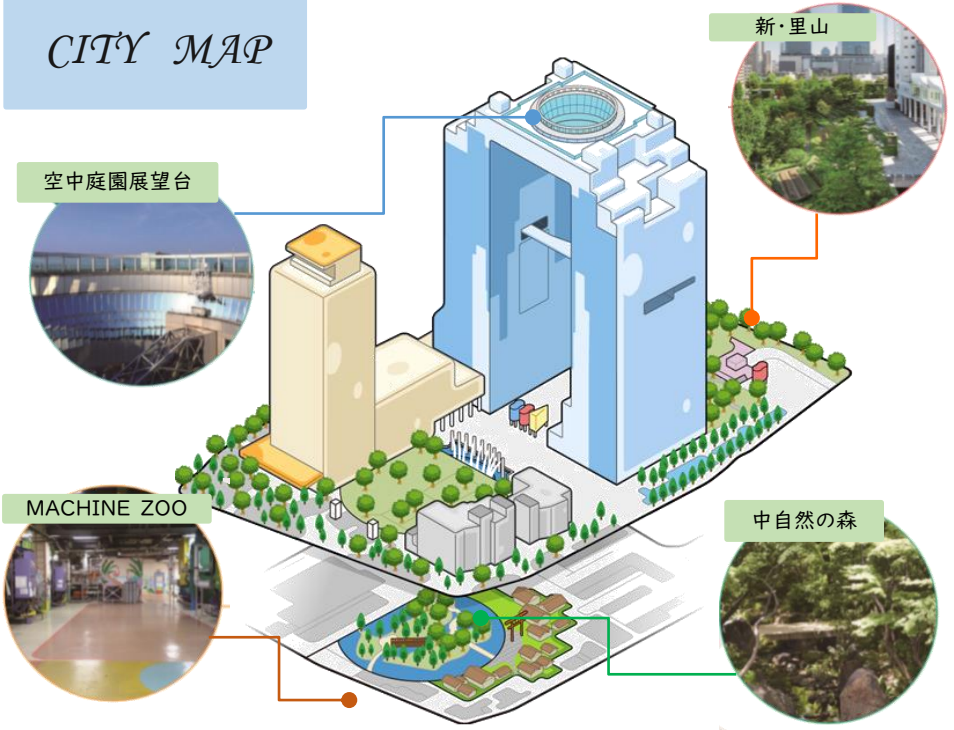
自然との共生　多文化理解

①企業と企業が連携し、SDGs達成に向けて取り組む姿を学ぶ。
2025年大阪・関西万博のテーマにも連動する「自然との共生」を実践する新梅田シティ～空中庭園展望台。ここで自然との共存を実現する積水ハウスの理念に触れながら、**生徒様が自然と考え、学べるプログラム**です。

②留学生との交流・対話により、多様な価値観から学ぶ。
「ラオスの気候って日本とどう違う？」「ベトナムの都心部に公園や緑あふれる場所はある？」「中国で多い災害は？」など・・・
プログラムを通じて、身近な話題から日本と留学生の国の違いに目を向け、それぞれの文化や環境の違いを考えるキッカケをうながすことを目的としています。（対話のヒントになるコミュニケーションシートを当日配布いたします）



CITY MAP



MACHINE ZOO（地下非公開エリア）

地下の熱源機械室「**MACHINE ZOO**（マシンズー）」では、様々な企業が連携し、新梅田シティ全体のCO2削減に向けて取り組んでいます。CO2削減以外にも防災の取り組みとして、停電の際に新梅田シティ全体の電力供給を行うことができる機械も設置されています。普段は見られないエリアから企業のCO2削減や防災の取り組みを学んでみてください。

非公開エリアにも関わらず、
壁や柱にはカラフルな動植物が
描かれています。
そこには積水ハウス様の
社員を想う企業理念が・・・

新・里山エリア

大都会の梅田スカイビルの下には、約8,000㎡の田畑が広がっています。里山エリアでは、在来種を増やし、昆虫や鳥が訪れ自然が循環する仕組みを作り出し、自然と都会の共存を実現しています。"3本は鳥のために、2本は蝶のために"地域の在来樹種を中心に植栽計画を行う積水ハウスの「5本の樹」計画を体現した新・里山エリアで都会と自然との共存を実現する企業の取り組みを感じることができます。

中自然の森

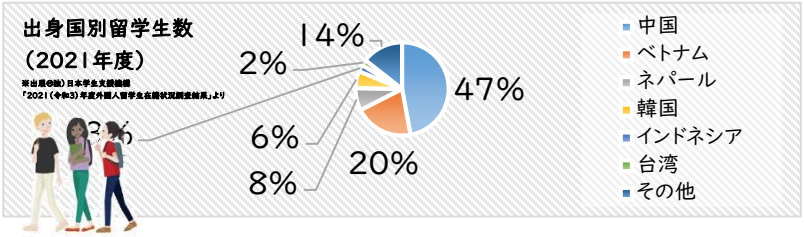
都会に生まれた鎮守の森。
大滝や渓流、渓谷など自然に囲まれたこの場所で見る風景には春夏秋冬で変化する楽しみがあり、6月にはホタルを見ることができます。ここを流れる滝は新梅田シティ全体の「水の循環」をイメージしてデザインされています。

6，留学生と学ぶ『大阪・関西万博ワークショップ』

開催箇所	大阪市内　研修施設
受入可能時期	通年
受入可能時間	９時３０分～１７時
所要時間（目安）	約２．５時間　※使用言語は日本語
受け入れ人数	20名以上／40名（１クラスまで）
プログラム費用	３，０００円（中・高校生） ※会場費は別途必要です。 目安料金：お一人様当たり1,000円程度
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで
最寄り駅	地下鉄大阪メトロ　心斎橋駅 もしくは大阪市内会場
バス駐車場	無（お客様自身でお手配お願いします）

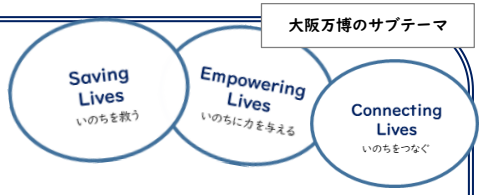
WHY? 大阪でなぜ留学生？

海外から大阪を選んで留学に来た学生からは、「大阪は住みやすい」「大阪の人はやさしい」と聞いて大阪を留学地に選んだ!!という声が聞かれます。
なぜでしょうか？
大阪では、大阪観光局を中心に、海外からの留学生にとって「学んでよし」「住んでよし」「働いてよし」の大阪の実現に向けてオール大阪で取り組んでおり、大阪がアジアNo１の留学生都市になることを目指しています。2021年10月末時点で日本で働く外国人労働者の数は、約173万人*。(*厚生労働省発表資料に基づく)この数は、年々増え続けており、次世代を担う皆さんが社会に出る頃には、職場の半数が外国人労働者という環境が当たり前になっているかもしれません。関西に住む留学生とともに学ぶプログラムから、様々な考えや価値観に触れ、2025年大阪・関西万博の目指す、多様な人々が活躍する「いのち輝く未来社会の実現」について、皆さんも一緒に考えてみませんか。



プログラム内容

大阪万博のサブテーマ



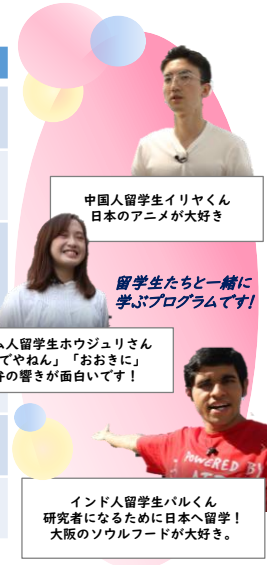
・大阪観光局職員の方から万博についてのお話
・留学生とのグループワーク・発表（日本語にて）
・観光局様より総評・振り返り

〝観光〟という側面から大阪のまちづくりに携わる大阪観光局職員の方から、大阪観光局のお仕事、そして大阪関西万博の概要について講義を頂きます。大阪に住む多国籍留学生とともにグループワークにて、万博のテーマである『いのち輝く未来社会のデザイン』のアイデアを考え、大阪観光局の方に向け発表するプログラムです。

＜事前学習＞留学生が登場する教材動画を事前学習として視聴することで万博に関する予備知識をもってご参加いただくことが可能です。▶▶▶

サンプルスケジュール

時間	種別	内容
10:00	聴講	・講師自己紹介（大阪観光局） ・留学生の紹介／・観光局のお仕事とは？
10:15	グループ紹介	・自己紹介 ・アイスブレイク
10:30	聴講	・万博について観光局の方よりお話 ・グループワークのお題発表
11:00	グループワーク	・グループワーク・アイデア出し ・まとめ ・全体発表
12:00	総評	・大阪観光局職員の方からのコメント
12:30	グループ・個人	・振り返り・気づき共有　後、終了



プログラム背景・目的

感染症の世界的流行を経て、人々の価値観や生き方が多様化する転換期において開催される万博は、人々が改めて様々ないのちと向き合い、持続可能な未来社会のあり方を模索する場となります。万博が開催される意義、万博が目指す未来社会について講義から理解を深めていただくとともに、本プログラムでは、多様な文化と背景をもつ留学生とともに学ぶことで、他者の考えを受け入れ、多角的な視点で新たなアイデア・気付きを創出する事を目的としています。

7，“食”から学ぶ防災・減災プログラム

キャリア教育　防災・減災　食といのち

企業名	株式会社魚国総本社	
受入可能時期	通年（年末年始・GW期間除く） ※実施は１日１団体様・週２回まで。	
受入可能時間	平日・土曜　９時３０分～１７時 （日祝は受け入れ不可）	
所要時間（目安）	９０分～約３時間 ※プログラムの組み合わせにより異なります。	
受け入れ人数	最少20名／最大80名まで	
対象	中・高校生対象	
プログラム費用（税込） 所要時間	A：企業講話＋調理体験 （約100分） B：企業講話＋グループワーク （約90分） C：企業講話＋グループワーク ＋調理体験 （約120分） D：昼食代金	3,000円 2,000円 3,500円 1,100円
予約受付期間	実施日の１年前～１か月前まで	
最寄り駅	JR加島駅から徒歩約７分	
バス駐車場	本社敷地内に２台まで駐車可能 （事前予約要・事前相談要／無料）	
公式ＨＰ	https://www.uokuni-s.co.jp/	

プログラム内容

★学校の滞在時間やご希望に合わせて以下を組み合わせ可能です★

①企業講話 ※試食付 （約40分） 必須	②調理体験 （約60分）	③グループワーク （約50分）	④昼食

株式会社 魚国総本社 ってどんな企業？

1914年に大阪の地に創業し、以来、日本の給食事業のパイオニアとして、社員食堂から学校給食、病院や福祉施設のフードサービスを展開している魚国総本社様。
「おいしい」のはもちろん、心まで幸福感に満たされるような食事。人々の活力となり明日を支えるような食事。そんな食事の時間を提供し、全国各地の企業・施設のニーズに応えながら社会の健康づくりにも貢献しています。

大阪創業の企業に学ぶ『食のサステナビリティ』『防災』

「おいしい」だけではない、その先の価値を。

【企業の取り組み】
「食べることは生きること」を合言葉に、
全国各地の保育園・幼稚園では、地産地消の食材を使った給食メニューなどを提供。園児に食育の出前授業をおこない、食を通じたサステナビリティ事業を次世代を担う子供たちに実践されています。

また、さまざまな企業の社員食堂を運営する事業者として、災害時には、「お客様である企業様の活動を止めない」という理念のもと、災害備蓄の利用や炊き出しなどをおこない、欠食0を実現されています。
（東北大震災・熊本震災時など）

【プログラムからの学び】
このプログラムでは、大阪で「食」を起点に事業を展開しながら、「人々の健康」「食を通じた教育」「防災」「災害対策」などに取り組む企業のサステナビリティを社員さんの講話（災害食レシピの試食付き）から学びます。
講話との組み合わせで選択できる「②調理体験」や「③グループワーク」では『食』を切り口に2025年の大阪・関西万博でも欠かせないテーマである‘‘防災‘‘‘‘いのち‘‘について考えます。

※事前学習シートあり／一部タブレットが必要なワークもあります。
（ワークテーマ等は次ページを参照ください）

7，“食”から学ぶ防災・減災プログラム　～株式会社魚国総本社～

プログラムの内容と組み合わせ

★学校の滞在時間やご希望に合わせて以下を組み合わせ可能です★

①企業講話
※試食付
（約40分）

・魚国総本社の社員様から企業の取り組みについてのお話
（企業の食育や災害時の支援などの事例を含むサステナビリティ講話）
・講話の途中、災害食レシピの簡単な試食あり。

②調理体験
（約60分）

・魚国総本社の管理栄養士さんによる調理体験
（1班　生徒5−6名）
「災害食レシピ」を実際に調理体験してみよう！

③グループワーク
（約50分）

事前に学校様で選択可能です。
■テーマ①　災害食レシピをグループで組み立ててみよう！
■テーマ②　MY備蓄食を考えよう！※タブレット・スマホ等端末利用必要
注）ワークの会場にWIFI環境はございませんのでご注意ください。

④昼食

・中高生の栄養・健康を考え、フードロスにも配慮した昼食内容です。
給食事業者様だからこそ提供できるこだわりのメニューでご用意。

プログラムでの昼食内容

～SDGSsの視点を取り入れ食材にこだわった昼食をご提供～

■サトウキビを使った容器で提供（循環）
■フードロスに配慮しご飯は皆が食べきれる量を。
※別途、ごはんのおかわりは提供可。
■栄養に配慮し、あたたかいスープも（おかわり可）

～昼食からも生徒様に学びを～
■ご飯を食べきりサイズにしたことについて
SDGs活動を推進している私たちには「食品ロス」の考え方からしても平均的な栄養価を出し、男女差、体格などに応じて「おかわり」として食べていただけたらなと考えています。

■会社としての使命感
私たちの使命のひとつに「健全な食生活を伝える」ということがあります。
「食は一生涯続く学び」と考え、成長期に必要な「食べる力」を伝えていけたらと思います。

学校様、保護者様へのメッセージとしても
レストランなどの施設とは違い「給食会社」を選んだ意義もそこにもあると感じてもらえる昼食内容にこだわりたいです。

（※昼食はアレルギー対応可／成分表提供可能）

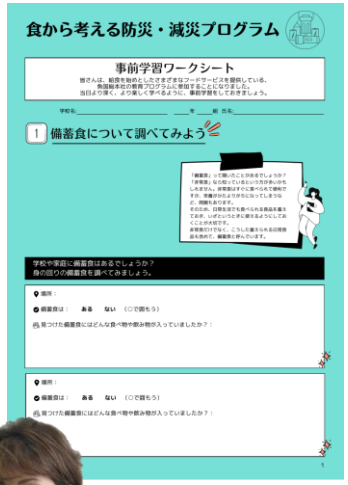
プログラムについて（②調理体験）

■魚国総本社の管理栄養士さん指導のもと調理。
■災害を想定して、ポリ袋や牛乳パック・アルミホイルなど
身近なものを活用して体験！ 備蓄って？ 災害食って？
“体験”を通じて、災害時の食事についての「学び」を持ち帰ります。※注）調理した内容は試食程度で一食分には相当しません。

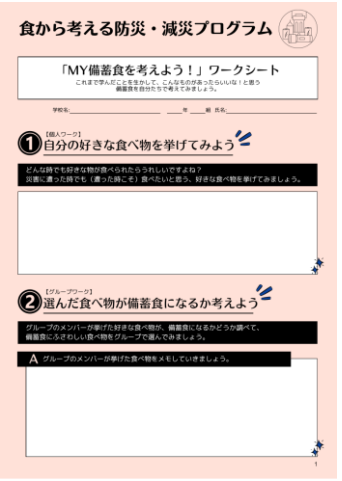
※牛乳パックやアルミホイルを使って作ったレシピイメージです。

プログラム（③グループワーク）で使用するワークシート

事前学習用



ワークシート



（※イメージ）

魚国総本社
渡部さん